

点訳養成講習会を受講していただくにあたって

1. 講習会について

本講習会は当センターでの点訳活動をしていただける方対象の講習です。5年程度、点訳ボランティアとして活動するご意思のある方にお受けいただきます（転居等で1年以内にご来館が困難となるのが確実な方は、残念ながら受講はご遠慮ください）。

本講習会では点字の仕組みから表記上のルールまで日本語の点字についてその基礎を学んでいただきます。テキスト「点訳のてびき第4版」、点字の筆記用具は当センターで用意します。テキスト代として1,540円（税込）をご用意ください（テキスト代は講習第1日目に徴収します）。

講習会受講中には、毎週の講義の内容を復習していただくために、毎回、課題を出します。22回の講習は原則全部ご出席いただきます。（別紙日程表にて講習日程をご確認ください）。

講習会受講後には、引き続き「フォローアップ学習会」にご参加いただきます。2026年4月～9月頃まで、毎週金曜日に開講します。（祝日、お盆、第5金曜を除く）。

フォローアップ学習会では、点訳の実地研修やパソコンを使つての点訳作業などに取り組んでいただきます。

講習受講はもちろん、点訳活動そのものも熱意と根気が必要です。

2. 点訳活動の実際

皆さまに点訳ボランティアとして実際の活動をしていただくのは、半年間のフォローアップ学習会終了後の2026年10月頃からとなります。

その後のボランティア活動は月に2回、曜日毎のグループ活動への参加が基本となります。合わせて点訳作業そのものはご自宅での活動となるため、毎日ある程度の時間をご家庭で点訳作業に充てていただく必要があります。

また、当センターでの活動中は、ボランティア組織「情文ともの会」に所属していただきます。

3. 当センターの点訳ボランティアに求められること

以下に上げる事項は当センターで点訳活動をしていただく上でご承諾いただきたい前提条件です。

- ・この活動に対する家族の理解がある。
- ・読書・調べ物が好き。
- ・目に負担のかかる細かい作業でも大丈夫。→点訳作業は細かい文字やパソコン画面をある程度の時間見続けなければなりません。

- ・どんなジャンルの本、資料でも点訳に取り組む意欲がある。→点訳作業は視覚障害者読者のために行うものです。ボランティア活動ですが、個人的な好みに応じた点訳はできません。
- ・自宅に windows10 もしくは 11 のパソコンがある。もしくは購入予定→必須。
- ・パソコンの基本操作が出来る。(マウス操作、windows の基本操作程度)
- ・当センターに来館することが負担ではない。→月に 2 回以上来館可能な方。

■点字の易しさ・難しさ・必要性

我が国の点字は、1890 年（明治 23 年）、当時の東京盲啞学校教諭・石川倉次氏の労作として誕生しました。以来 130 余年、点字は日本の視覚障害者に多くの情報をもたらし、また自由に読み書きできる文字として多くの視覚障害者から多くの情報が発信されました。

点字は、仮名文字と同じ「表音文字」で、漢字とは全く異質なものです。

漢字は書き手がたとえ声に出しては読めなくても、筆跡さえきちっと合っていれば、「どう読むか」はもっぱら読み手の問題です。

ところが、漢字仮名交じり文を全て仮名文字だけで書き表そうとすると、ちゃんと漢字を声に出して読めない限り、その作業はストップしてしまいます。

例えば、「日暮里（にっぽり）」を「ひぐれさと」と読んでそのまま仮名文字化してしまったのでは、視覚障害読者に間違った情報を伝えることになってしまいます。

また、同じ漢字でも、それが使われている文章によって読み分けることも必要です。例えば、「玄関のドアを開ける」と「スターへの道が開ける」は同じ「開ける」という漢字を使っているでも前者は「あける」、後者は「ひらける」と読まなければ全く意味が通じなくなってしまいます。

人名や地名はもちろん、目で見てもは分かっているのに声に出そうとすると何と発音してよいのか分らない漢字。正確な点訳という場合、その「正しさ」という言葉の基準はこういった漢字の読みをどこまで調べ上げたかということにかかってきます。

そのためには、じっくりと腰を据えて一つ一つ分からない漢字を調べていく忍耐力、解りきっていると思う漢字でも辞書を引いてあきらめずにさまざまな手段を考え、試してみる工夫と探究心が必要となります。日本語の点字を習得する過程は国語文法との格闘でもあります。文脈によって読み分けが必要な表現も日本語には多く、行間を読んでいくような日本語のあいまいさ（おおらかさ）を楽しむセンスも必要になります。

中途視覚障害者の増加などで点字を触読（しょくどく）できる視覚障害者

は減少傾向にあります。がしかし、自らのペースで読み書きできる文字での情報収集は「聴く」だけでは決して得られない情報の確実性や革新性を保証するものです。ICT が発達しても皆さまの生活から読み書きすることがなくならないように点字を必要とする視覚障害者もいなくなることはありません。

点訳作業は日本語の奥深さや読んだことのないジャンルの本、そして志を同じくする仲間との出会いももたらしてくれます。視覚障害者のこと、点訳のことをご理解いただける方のお申し込みをお待ちしております。

《ご注意》

この活動は、純粋なボランティアです。

講習終了後の活動には、報酬は出ません。交通費も自己負担となります。

その点どうかご了承下さい。